

2025年度

自己評価報告書

2026年6月17日

穴吹デザイン専門学校

1. 教育理念、目的

教育理念	職業教育を通して、地域社会に貢献する人材を養成する。
目的	学び続ける姿勢の基盤をつくり、自らデザインを探究し行動できる人材を養成する。

2. 2025年度の目標と計画

目標	(重点目標) ・ 部署を超えた横のつながりを強固にし、学生満足度を上げ目標を達成する。 ・ 地域や業界団体と協同し学生のデザインに対する関心を高め、知名度をさらに上げるとともに地域に開かれた教育を展開する。 ・ 募集が振るわない学科のテコ入れを行い目標達成するために募集施策を練り直す。
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) ・ 教員・学生共に学科を超えた人的交流を発展させ、学校の活性化につなげる ・ 多様化・デジタル化を推進し、授業の質を上げる ・ 卒業生の活躍に注目し、活躍できるフィールドの幅広さを伝える ・ オープンキャンパスの運営に積極的に在校生を動員し、入学後のイメージを深める ・ 地域社会との連携から一歩踏み込んだ情報収集ができる体制を整える ・ 進路決定で「選ばれる学校」になるためのマーケティングを展開し、学校ブランディングを構築する

3. 評価項目別評価結果

① 教育理念・目的・育成人材像

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	すべての項目において適切に取り組みがなされている。
取組状況と その分析	各職業の魅力や職業教育における本校の姿勢についてHP等を通じてわかりやすく伝えた。
今後の 改善方策等	急速に変化を続ける関連業界の業務内容に即した人材像を継続して探る。

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	A
1-1-a	教育理念等はそれぞれ定められていますか	○
1-1-b	教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか（教職員手帳等）	○
1-1-c	学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか（学生便覧等）	○
1-1-d	教育理念等を学校外に広く公表していますか（HP、パンフレット、募集要項等）	○
1-1-e	学校における職業教育の特色が明確にされていますか	○
1-1-f	各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、学内外に提示されていますか	○
実施状況等	学外にはWebで公開、学内には学生便覧で周知・共有している。	
確認資料	Webサイト、パンフレット、学生便覧（学生手帳）、シラバス・コマシラバス	

1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	A
1-2-a	中期的(3～5年程度)な視点で、学校の将来構想を描いていますか	○
1-2-b	地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	○
実施状況等	3年毎の中期経営計画に基づき年度計画を策定・実行している。 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、企業訪問等で情報を収集している。	
確認資料	中期経営計画、目標・基本方針、各委員会議事録	

② 学校運営

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	学校法人立の専門学校の要件を満たした運営ができています。
取組状況と その分析	学科責任者の設置とミーティングの実施 管理職ミーティングの実施
今後の 改善方策等	職務権限の整理 業務内容を更に見直した効率化の推進

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	A
2-1-a	運営方針は定められ、教育理念等に沿ったものになっていますか	○
2-1-b	運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	○
実施状況等	年度ごとに運営方針が定められ、職員大会等で教職員に周知している。 各種定例会議にて目標・基本方針に基づく進捗の確認を行っている。	
確認資料	年度目標基本方針、学校運営検討会議資料、学校運営調整会議資料	

2-2	事業計画を作成し、執行していますか	A
2-2-a	事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいますか	○
2-2-b	事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	○
実施状況等	事業計画に基づき年度予算を作成、執行している。 月次の学校運営検討会議、学校運営調整会議で状況を確認している。	
確認資料	年度目標基本方針、収支予算書、実績検討会資料、学校運営検討会議資料、 学校運営調整会議資料	

2-3	組織運営は適切に行われていますか	A
2-3-a	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議（教職員会議等）が定期的に開催されていますか	○
2-3-b	理事会・評議員会の議事録は公開されていますか	○
2-3-c	組織機能図がありますか。また、組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されていますか	○
2-3-d	意思決定に至る手順・ルートは規程等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか。また、決裁規程が文書化されていますか	○
2-3-e	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されていますか	○
実施状況等	理事会・評議員会議事録をWeb公開。組織図・諸規定等はグループウェアで共有。 学園本部にコンプライアンス室を設置し、コンプライアンス委員会を運営している。	
確認資料	理事会・評議員会議事録、学校運営検討調整会議議事録、学校運営調整会議議事録、 カレッジグループ組織図、職務分担当表、規程集、職務権限規程、コンプライアンス行動基準	

2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	A
2-4-a	人事・給与規程（人事考課制度、賃金制度、昇進・昇格制度、採用制度）等が文書化され、整備・運用されていますか	○
2-4-b	SD（スタッフディベロップメント）に関する計画を立て、実施されていますか	○
実施状況等	人材開発運用規程、賃金規定等に基づき適正に運用している。 教職員研修規程に基づき計画的にSDを実施している。	
確認資料	規程集、目標管理シート、業績考課シート、能力考課シート、教職員研修規程 教職員研修受講報告書	

2-5	管理運営は適切に行われていますか	A
2-5-a	公印管理簿、出退勤管理簿、受信・発信簿がそれぞれありますか	○
2-5-b	教職員の健康診断がされていますか	○
2-5-c	固定資産管理規程が文書化されていますか	○
2-5-d	図書管理規程（養成施設等）が文書化されていますか	○
2-5-e	物品（消耗品、貯蔵品等）等の在庫管理をしていますか、物品購入等では複数業者からの比較・検討がされていますか	○
2-5-f	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されていますか	○
実施状況等	各種管理簿を整備。健康診断は毎年実施。物品購入の際は3社見積りを原則としている。図書管理規定は義務ではないため設けていない。	
確認資料	固定資産台帳、捺印申請管理簿、勤怠集計表、受信簿、切手台帳、各種設備点検報告書、承認申請書	

2-6	業務の効率化を図っていますか	A
2-6-a	情報システム化に取り組むなど業務の効率化に努めていますか	○
実施状況等	カレッジグループ内でグループウェアを運用し、回覧・文書管理・設備予約を行っている。 学生管理システムの運用により、出願・成績・検定等の情報を一括管理している Googleの提供するスプレッドシートやサイト等を共有することで情報の2重管理を防止。	
確認資料	グループウェア、学生管理システム、Google Workspace	

③ 教育活動

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	多くの項目において堅実に取り組みを継続している。
取組状況と その分析	定期的な講師会等を実施、また学科責任者会議等を通して情報伝達・共有化を図り常に 良好な教育活動内容であるよう留意している。学科特別授業として業界との勉強会を実施。 インターンシップは希望者のみ実施。 学科を跨いだ教員配置、授業の実施。
今後の 改善方策等	他教育機関、団体との連携

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	A
3-1-a	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	○
3-1-b	教育活動に関する情報公開が適切になされていますか	○
実施状況等	教育到達レベルとしてのディプロマポリシーを明文化している。 学外にはパンフ、Webで公開。学内はグループウェアで周知・共有。	
確認資料	メインパンフ、Web、教務手帳、学生手帳、グループウェアで公開	

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	A
3-2-a	教育課程（カリキュラム）は明文化され、事前に学生に開示されていますか	○
3-2-b	授業計画（シラバス）が事前に学生に配布または公開されていますか	○
3-2-c	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われていますか（カリキュラム作成委員会等）	○
3-2-d	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れていますか	○
3-2-e	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れていますか。またはその意見を取り入れていますか	○
3-2-f	シラバスが作成されていますか、各科目の1コマの授業について、そのコマシラバスが作成されていますか	○
3-2-g	〔職業実践専門課程〕 修業年限は2年以上ですか	○
3-2-h	〔職業実践専門課程〕 総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上ですか	○
実施状況等	適切なメンバー構成による委員会を経てカリキュラムを更新の上シラバス、コマシラバスを作成。カリキュラムはパンフ、Webで公開。シラバスは学生配布及びグループウェアで共有。	
確認資料	メインパンフ、Webサイト、Google Workspace、教育課程編成委員会議事録等、学則	

3-3	社会や業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされていますか	A
3-3-a	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）がありますか	○
3-3-b	コミュニケーション能力の向上など専門性以外にも社会人基礎力を高めるための教育に向けた取組をおこなっていますか	○
3-3-c	リメディアル（導入前教育、補習）を教育を行っていますか	○
3-3-d	他の高等教育機関との連携講座等を行っていますか	○
3-3-e	企業・地域・行政との連携を図っていますか	○
実施状況等	インターンシップ（希望者）、企業実習を計画、社会人基礎講座を開講、補習等も必要に応じて実施。市立広島商業高校教員対象講座。	
確認資料	メインパンフ、Webサイト、インターンシップ記録、業務報告書等	

3-4	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	A
3-4-a	キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）（平成23年1月31日）の内容を参照していますか	○
3-4-b	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われていますか	○
3-4-c	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	○
実施状況等	社会人基礎のキャリア教育科目・行事を実施し、職業教育を行っている。	
確認資料	科目のシラバス、コマシラバス、業務報告書	

3-5	授業改善のための取組が行われていますか	A
3-5-a	学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	○
3-5-b	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	○
3-5-c	結果に基づく教員面接・授業観察を実施し、教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されていますか	○
3-5-d	授業改善のための組織的取組が行われますか（授業改善委員会（FD）等）	○
3-5-e	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、授業科目等教育課程を編成・見直していますか	○
3-5-f	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っていますか	○
実施状況等	Web授業アンケート実施およびそのフィードバック、講師会、教育課程編成委員会の開催、穴吹教育総合研究所による授業モニターの実施、保護者アンケート。	
確認資料	メインパンフ、Webサイト、グループウェア、Google Workspace 授業評価アンケート報告書、授業改善計画書、学内ファイルサーバ	

3-6	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	A
3-6-a	成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	○
3-6-b	成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	○
実施状況等	学則を定め県学事課に提出。細則は学生手帳に明記している。	
確認資料	学則、学生手帳	

3-7	成績評価等を適正に行っていますか	A
3-7-a	判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	○
3-7-b	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っていますか	○
実施状況等	教務会議、判定会議、関連分野の実務家による授業・評価を実施している。	
確認資料	学内ファイルサーバ（議事録等） 非常勤講師契約書、勤務カード	

3-8	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	A
3-8-a	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	○
3-8-b	教育課程(カリキュラム)や授業計画（シラバス）は文書化またはデータ化し、学生に配付または公開していますか	○
実施状況等	各学科に必要な資格取得を目指して授業を行っている。 シラバスは学生に配布、学生データベースで共有している、Web公開中。	
確認資料	シラバス、Webサイト、Google Workspace	

3-9	資格・免許取得のための指導体制がありますか	A
3-9-a	資格・免許取得のための指導体制がありますか	○
実施状況等	対策授業の実施、放課後または休日特別補講支援	
確認資料	シラバス	

3-10	資格・要件を備えた教員を確保していますか	A
3-10-a	教員数は関係法令等を満たしていますか	○
3-10-b	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか、教員資格・要件の取得・更新に向けた教育・支援を行っていますか	○
3-10-c	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われていますか	○
実施状況等	実務家講師の積極採用、年間一定数時間以上の教員研修を実施している。	
確認資料	メインパンフ、Webサイト等	

3-11	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	A
3-11-a	県専各連合会主催研修会、企業や各種の団体が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	○
3-11-b	能力向上のための校内研修（OJT）を計画的に行っていますか	○
3-11-c	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしていますか	○
3-11-d	講師間の定期的な情報共有を図っていますか（ミーティング、報告書、教務日誌等）	○
3-11-e	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させていますか	○
3-11-f	〔職業実践専門課程〕教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	○
実施状況等	教職員研修規程に則り適正に運用。 講師会、学科責任者会議を定期的に開催。	
確認資料	教職員研修受講報告書	

3-12	地域と協力、連携した教育を行っていますか	A
3-12-a	地域の人材を活用して、授業等を行っていますか	○
3-12-b	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した授業等を行っていますか	○
3-12-c	地域の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	○
3-12-d	地域の他の専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	○
実施状況等	授業内での各種見学、業界団体と連携したイベントに参画。インターンシップは採用に結び付けることを目的として実施し内定に結び付けた。講師の殆どが地域の専門家および専門分野の企業人から構成。	
確認資料	学校webサイト、業務報告書	

3-13	地域の特性を活かした教育を行っていますか	A
3-13-a	学生が地域の産業、歴史、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	○
3-13-b	公共のマナー、交通ルール・マナーについて、教育・指導していますか	○
実施状況等	教材として、地域と連携した課題がある。 マナー指導はオリエンテーションや社会人基礎等で実施。	
確認資料	シラバス、コマシラバス、授業配布資料	

④ 学修成果

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	すべての項目について堅実に取り組みを継続している。
取組状況と その分析	特別講義や補講を実施し、検定合格率アップの取り組みを実施した
今後の 改善方策等	評価の精度や透明性、統一性の担保

4-1 資格・免許取得率の向上が図られていますか	A
4-1-a 資格・検定・免許取得・コンペに関する目標設定がされ、目標・計画が教職員に共有されていますか	○
4-1-b 資格・検定・免許取得・コンペ結果に関して検証・報告がされ、結果（合格者数・合格率）を公表していますか	○
4-1-c 取得率向上のための対策等を講じていますか	○
実施状況等	各学科で吟味した検定とその目標設定を年度当初までに決定、共有。 特別講座等を実施し、合格率アップの取り組みを実施。
確認資料	メインパンフ、Webサイト、教務手帳、学生手帳、WingBox（グループウェア）、 学内サーバー

4-2 評価・成績の向上が図られていますか	A
4-2-a 評価・成績に関する目標を設定し、教職員に共有されていますか	○
4-2-b 評価・成績に関する記録がなされ、検証・報告がされていますか	○
実施状況等	習熟度の目標を立てている。 演習課題が多いため、提出期限の遵守も重視して指導している。
確認資料	学内資料（成績指導関連ファイル）、校運営調整会議資料

4-3 就職率の向上が図られていますか	A
4-3-a 学生に就職に関する目標を立てさせ、その目標が教職員に共有されていますか	○
4-3-b 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	○
4-3-c 学生の就職活動に関する記録がなされていますか、学生の就職結果に関して検証・報告がされていますか	○
4-3-d 対外部に向けた就職実績を公表していますか（パンフレット、HP等）	○
実施状況等	就職キャリアセンター職員による進路支援授業(年間30コマ・1年次全クラス)の実施と 学生の進路面談を継続実施。教職員間で情報を共有して就職率の向上を図っている。
確認資料	学校HP、就職支援授業の年間シラバス、企業訪問状況メール、学生面談状況メール

4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握していますか	A
4-4-a	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握していますか	○
実施状況等	内定実績企業への定期的な訪問や個別連絡等で卒業生の情報収集を行っている。 集めた情報はホームページやSNS、パンフレット、校内掲示等で情報を公開している。 就職CC職員による内定企業の訪問により卒業生の活躍状況の情報収集を行っている。	
確認資料	ホームページ、SNS、パンフレット各種、新聞、雑誌等	

4-5	地域、関連業界への就職が図られていますか	A
4-5-a	地域または関連業界へ就職することの意義・メリット等について説明し、促進できるよう指導していますか	○
4-5-b	地域への就職率の向上は図られていますか	○
4-5-c	関連業界への就職率の向上は図られていますか	○
実施状況等	地元就職率・業界就職率の目標を設定し、専門分野の企業開拓及び学内企業説明会を実施している。	
確認資料	社会人基礎コマシラバス、学科別就職活動状況、企業訪問状況メール	

⑤ 学生支援

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	学生のニーズを踏まえて各種支援の充実に継続して取り組んでいる。 メンタルサポートとしてカウンセラー相談を週に一回実施。就職相談は即時対応。 学生の様子を取材し、保護者・企業・高校生へHPを通して発信している。
取組状況と その分析	保護者に毎週、出席率メールを送信し退学防止に努めている。 退学防止のためにチューターと就職CCが連携して面談を実施。
今後の 改善方策等	退学防止の施策。

5-1 退学率の低減が図られていますか	A
5-1-a 中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	○
5-1-b 中途退学防止のための対策を講じていますか	○
5-1-c 退学率の目標と計画を設定し、教職員に共有されていますか。また、退学結果に関して検証・報告がされていますか	○
5-1-d 退学者数を公表していますか	○
実施状況等	退学率の目標を設定し、情報共有しながら取り組んでいる。 アンケート（Hyper QU）の実施および欠席率の観察。カウンセラーの設置。
確認資料	ウェブサイト（情報公開ページ）、校運営会議資料、目標基本方針、Hyper-QU

5-2 就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	A
5-2-a 就職等に関する支援部署・相談部署（就職担当部門）はありますか	○
5-2-b 就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	○
5-2-c より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか	○
実施状況等	就職キャリアセンター職員3名が主体となり就職支援を実施している。 就職キャリアセンター職員とチューターとの情報共有を実施している。
確認資料	学科別学生就職活動状況一覧、企業情報メール、学生マッチング表 就職キャリアセンター行動予定表、学科別状況・課内打合せ表

5-3 就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	A
5-3-a 企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	○
5-3-b 就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	○
5-3-c 履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	○
実施状況等	グーグルドライブにて全ての求人票を公開。学内での企業説明会を44回実施。 1年次は全学生と進路面談を実施。2年次は進路面談を常時実施して支援を行っている。
確認資料	求人票スキャンデータ、学内企業説明会実施状況 社会人基礎コマシラバス

5-4	課外活動に対する体制は整備されていますか	A
5-4-a	課外活動に対する支援体制は整備されていますか	○
実施状況等	ゼミ、ワークショップ、イベント等への取り組みを支援している。	
確認資料	ホームページ等	

5-5	学生相談に関する体制は整備されていますか	A
5-5-a	入学時及び定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っていますか	○
5-5-b	キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいますか	○
5-5-c	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいますか	○
5-5-d	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があり、相談窓口が周知されていますか	○
5-5-e	学生の面談・相談記録がありますか	○
5-5-f	学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応できる体制がありますか	○
実施状況等	定期的にチューター面談を実施。Hyper-QUによるスクリーニング、ガイダンスも実施。臨床心理士の採用。週報による学生とのコミュニケーション。	
確認資料	学生指導履歴、カウンセラー契約書、週報記録	

5-6	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	A
5-6-a	いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	○
5-6-b	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	○
実施状況等	定期的にチューター面談を実施、およびHyper-QU。学科ミーティング、学科責任者会議等。	
確認資料	学生指導履歴	

5-7	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	A
5-7-a	公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	○
5-7-b	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	○
実施状況等	特待生制度・オリコ教育ローン利用時の利子補助制度など、各種支援制度がある。日本学生支援機構奨学金を中心に学生・保護者に情報提供している。	
確認資料	学生募集要項、オリコ教育ローン利子補助チラシ、日本学生支援機構パンフレット	

5-8	学生の健康を担う組織体制はありますか	A
5-8-a	学生に対し、定期健康診断を実施していますか	○
5-8-b	有所見者の再健診について適切に対応していますか	○
実施状況等	全学生に対して定期検診を実施。	
確認資料	健康診断書(個人別)	

5-9	生活環境支援体制を整備していますか	A
5-9-a	遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	○
実施状況等	入学前のイベント（オープンキャンパス）において提携業者を招聘し、運営する学生寮を紹介。希望者には不動産斡旋業者を通してアパート・マンション等の物件紹介を行っている。	
確認資料	学生募集要項、提携学生寮紹介パンフレット	

5-10	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	A
5-10-a	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか	○
5-10-b	保護者との計画的な相談会・面談を行っていますか	○
5-10-c	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	○
5-10-d	緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	○
実施状況等	成績通知書を保護者あてに送付、保護者会総会の実施。 毎週出席率メールを送信（希望者）。進路相談は希望があれば即時に電話相談を実施。	
確認資料	保護者会総会資料、成績発送資料、学内サーバー	

5-11	卒業生の動向を把握していますか	A
5-11-a	年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	○
5-11-b	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されていますか	○
5-11-c	卒業生（同窓生）の進路・就職先等を公表していますか、また記録がなされていますか	○
5-11-d	卒業生（同窓生）の1年後の就業状況を把握していますか、また公表していますか	○
5-11-e	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	○
実施状況等	主に就職キャリアセンター職員が企業訪問により情報収集を行っているが、情報公開はしていない。卒業生の進路や活躍について学校HP及びパンフレットに掲載している。	
確認資料	学生訪問状況管理表、年度別学生就職活動状況一覧	

5-12	卒業生への支援体制を整備していますか	A
5-12-a	資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	○
5-12-b	再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	○
5-12-c	卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか	○
5-12-d	学校は同窓会との連携を図っていますか	○
5-12-e	卒業生の就業先への定期的な訪問をしていますか	○
5-12-f	学校情報を卒業生に知らせていますか（HP、学校便り等）	○
実施状況等	卒業生の進路相談は継続実施し、求人情報の提供を行っている。 同窓会を実施し近況報告を通じて柔軟な支援を行っている。	
確認資料	企業訪問状況(メール)、学校HP	

5-13	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	B
5-13-a	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	×
5-13-b	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか	○
実施状況等	ネット動画クリエイター学科を除く学科は専門実践教育訓練給付金制度の講座指定を受けている。入学前部分についての単位認定は学校として行っていない。	
確認資料	教育訓練給付金制度案内チラシ、専門実践教育訓練講座指定等通知書	

5-14	上記以外を通じての学生支援	A
5-14-a	学校情報を企業・高等学校等に知らせていますか（学校便り、DVD等）	○
実施状況等	就職キャリアセンター職員もしくは広報担当者が定期的に学校案内等を持参し、企業の採用担当者や高等学校の進路指導教員に学校情報を伝えている。	
確認資料	学校案内、学園新聞、高校訪問用シート	

⑥ 教育環境

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	専修学校設置基準に基づいて施設・設備の整備を行っている。
取組状況と その分析	学科独自に研修先を設定し見分を広めた。 日々増加するネットワーク通信に対応するため光回線を増設。
今後の 改善方策等	更に通信量の増加が予想されるためネットワークインフラの充実。 経年劣化したA棟床クッションフロア張替え。

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	A
6-1-a	施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	○
6-1-b	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	○
6-1-c	学生が利用できる参考図書、関連図書が備えられた図書室・図書コーナー等がありますか	○
6-1-d	就職支援を行う指定された場所がありますか	○
実施状況等	専修学校設置基準に準じて整備を行っている。各種法定設備点検も業者を通じて実施。 A棟インターネット回線を増設。	
確認資料	校舎レイアウト図、各種保守点検報告書	

6-2	教育の実施体制は整備されていますか	A
6-2-a	学校の年間スケジュールはありますか	○
6-2-b	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されていますか	○
6-2-c	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化され、定期的に管理・チェックがされていますか	○
6-2-d	学内外実習時の安全対策に関して文書化されていますか	○
6-2-e	学校生活（実習・行事・学外活動等）において保険に加入していますか	○
実施状況等	いずれも整備されている。	
確認資料	s-wing、学内掲示物、保険証券等	

6-3	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	A
6-3-a	校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	○
6-3-b	校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	○
6-3-c	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	○
実施状況等	学外授業、インターンシップ、国内研修旅行を実施。	
確認資料	年間予定、業務報告書、ホームページ等。保護者へは郵送またはメールで送付。	

6-4	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	A
6-4-a	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	○
6-4-b	施設・設備の耐震化を図っていますか	×
6-4-c	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されていますか	○
6-4-d	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されて、組織化されていますか	○
実施状況等	消防計画・危機管理マニュアルを逐次更新し非常時の対策を行っている。 消防点検等で不具合が発見された場合は速やかに修繕を実施している。 校舎の耐震化については建築当初の耐震基準を満たした状態で運用中。	
確認資料	消防計画書、危機管理マニュアル、消防用設備等点検結果報告書	

6-5	定期的に防災訓練等を実施していますか	A
6-5-a	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	○
6-5-b	シェイクアウトや各県・市・町が行う防災訓練等に参加していますか	○
実施状況等	訓練内容は広島南消防署に相談し、校舎と学生の現状に合った内容で訓練を実施。	
確認資料	防災避難訓練実施要項	

⑦ 学生募集と受入れ

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	イベント動員前年比90%と減少。転出超過が加速する広島県下での対策として、地元生のつなぎ止めや県外からの呼び込みを実施するも、入学生数は前年比微減となった。
取組状況と その分析	示した方針に従い、教育において取り組んでいる内容を外部に発信。 どの部署の連携が欠けても入学に繋がらないため、全学体制で募集活動に尽力した。
今後の 改善方策等	進路検討者に対し、学校の理解だけでなく分野・職業理解ができる発信を増やしていくことが重要となる。

7-1 学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	A
7-1-a 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	○
7-1-b 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許・コンペ等をわかりやすく紹介していますか	○
7-1-c 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	○
7-1-d 学校案内等には選抜方法が明示されていますか	○
7-1-e 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	○
実施状況等	高校訪問や会場相談会において在校生・卒業生の活動の様子を提供している。 入学検討者の質問への返答や、オープンキャンパスは全教職員で対応。（問い合わせ窓口は入学相談室）
確認資料	学校案内、学生募集要項、学校ホームページ、SNSや動画素材

7-2 授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	A
7-2-a 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	○
7-2-b 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知（18文科高第536号）に基づいて適切に対応していますか	○
実施状況等	全額明記。授業料返還についても記載している。
確認資料	学生募集要項・学校ホームページ

7-3	入学前の学生支援は行われていますか	A
7-3-a	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われていますか	○
7-3-b	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われていますか	○
実施状況等	入学前に自宅で実施可能な学習準備や実習の手引きを郵送。	
	入学式後、新入生対象のオリエンテーションを実施。	
確認資料	学生募集要項・学校ホームページ、学内サーバー	

7-4	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	A
7-4-a	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	○
7-4-b	教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取り組んでいますか	○
7-4-c	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	○
7-4-d	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えていますか	×
実施状況等	ネット動画クリエイター学科を除く6学科が専門実践教育訓練給付金の講座指定を受けている。また、社会人自己推薦制度を設け特待生の申し込みが可能。	
確認資料	学生募集要項、学校ホームページ、専門実践教育給付金指定講座一覧表、明示書	

⑧ 財務

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	昨年度に引き続き、財務状況は安定している。
取組状況と その分析	在校生数の高止まり傾向が続いており財務状況は安定している。 内部会計監査結果では管理状況は良好と判断され、今後も維持して行く。
今後の 改善方策等	設備投資と人材育成のバランスを取りながら計画する。

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	A
8-1-a	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	○
8-1-b	収入と支出のバランスが取れていますか	○
8-1-c	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	○
実施状況等	昨年に引き続き健全な経営ができています。	
確認資料	決算関係書類	

8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	A
8-2-a	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	○
8-2-b	年度予算、中期計画が策定されていますか	○
8-2-c	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認していますか	○
8-2-d	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	○
実施状況等	中期計画・年度予算に沿って執行された実績を月毎に確認している。 半期ごとの実績検討会で執行状況の確認をおこなっている。	
確認資料	収支予算書、中期目標基本方針 月次決算書類(勘定科目明細)、実績検討会資料	

8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	A
8-3-a	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されていますか	○
8-3-b	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書化されていますか	○
8-3-c	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできていますか	○
8-3-d	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	○
実施状況等	学園本部監査室による内部監査を毎年実施。結果については結果通知書にて報告があり、指摘事項は是正している。また、財務情報も学校HPに公開している。	
確認資料	監査調書、監査結果報告書、措置報告書、学校HP(情報公開ページ)	

⑨ 法令等の遵守

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	適切に運用できている。
取組状況と その分析	PCの持ち出しなど制限をかけ、情報の漏洩を防止
今後の 改善方策等	迅速な公開

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされて	A
9-1-a	監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	○
9-1-b	学校運営に必要な諸規程を整備し、それを適正に運用していますか	○
9-1-c	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規程を文書化し、対策を立て実行していますか	○
実施状況等	学則ほか諸規程を整備し、変更等が生じた場合は適時監督官庁に申請・届出を行っている。 教務部管理職がアンコンシャス・バイアスに関する研修を受講。	
確認資料	各種申請書類控え、コンプライアンス行動基準 研修報告書	

9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	A
9-2-a	個人情報の取扱いについて、規程・方針を策定し文書化していますか	○
9-2-b	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	○
9-2-c	リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	○
実施状況等	穴吹学園セキュリティポリシーに基づき運用している。	
確認資料	秘密情報保持等の誓約書、穴吹学園セキュリティポリシー	

9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	A
9-3-a	自己点検・評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-3-b	自己点検・自己評価・改善実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	○
9-3-c	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされましたか	○
9-3-d	自己評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-3-e	自己評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	穴吹カレッジグループの策定要領に則り毎年自己評価を実施、報告書をWebで公表。	
確認資料	「自己点検・評価」フォーマットのご案内、自己評価報告書（Webサイト）	

9-4	〔職業実践専門課程〕学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか	A
9-4-a	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されていますか	○
9-4-b	実施のための組織体制を整備していますか	○
9-4-c	設置課程・学科の関連業界等から委員を選出していますか	○
9-4-d	学校関係者評価結果を報告書にまとめていますか	○
9-4-e	学校関係者評価結果をホームページに掲載するなど公表していますか	○
実施状況等	学校関係者評価委員会を定期的に開催し、結果を学校Webサイトに掲載している。	
確認資料	学校関係者評価委員会規程、組織図、委員名簿 学校関係者評価委員会議事録（Webサイト）	

9-5	学校の教育情報について、積極的に公開していますか	A
9-5-a	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	○
9-5-b	〔職業実践専門課程〕認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新していますか	○
実施状況等	学校Webサイトで情報公開、随時更新している。	
確認資料	学校Webサイト	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	地域や企業からの依頼については対応可能な範囲で応えた。
取組状況と その分析	地域イベントの参加（広島駅前通り勉強会、水辺のジャズ、広島みなとフェスタほか）
今後の 改善方策等	地域社会や業界団体と連携し、教育効果および就職実績を高める取り組みを強化する。

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	B
10-1-a	地域貢献を目的とした公開講座等を実施していますか	○
10-1-b	地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）等を積極的に受託していますか	×
10-1-c	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備・教職員の出張講座等を開放提供していますか	○
実施状況等	企業や地域団体からのイベント協力等に可能な範囲で参加。	
確認資料	外部へのボランティアについては報告書、ホームページ等	

10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	B
10-2-a	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	○
10-2-b	社会的活動（地域活動、地域貢献、ボランティア活動等）を実施し、評価・単位認定をしていますか	×
10-2-c	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	○
実施状況等	企業や地域団体からのイベント協力等に可能な範囲で参加。	
確認資料	外部へのボランティアについては報告書、ホームページ等	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	A
10-3-a	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	○
10-3-b	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟し、定期的な会合に参加していますか	○
10-3-c	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等（分野により研究・開発）を行っていますか	○
実施状況等	地域行事等への参画（水辺JAZZ、ハロウィンイベント、ヒロシマクラフト交差点ほか）	
確認資料	学内資料、ホームページ、業務報告書等	

10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	B
10-4-a	県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか	×
10-4-b	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	○
実施状況等	高校生を対象にした就職講話の講師として招聘され啓蒙している 県専各連合会の事業については、実施されれば協力に応じる用意がある	
確認資料	依頼文書、レジュメ、ホームページ 県専各連合会が作成している資料に学校情報を掲載	

⑪ 国際交流

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	留学生の生活指導に大きな問題は見られなかった。 昨年に続き、オンラインに限定して国際交流を実施した。
取組状況と その分析	チャレンジ海外研修（ベトナム）を実施。 銘傳大学とのオンライン交流により、価値観や文化の違いの理解を深めた。 デザイン海外研修は応募者が基準に満たなかったため実施できず。
今後の 改善方策等	留学生の生活指導。 チャレンジ海外研修への参加の推進。

11-1	留学生の受入れ等における適切な管理がされていますか	A
11-1-a	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っていますか	○
11-1-b	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられていますか	○
11-1-c	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されていますか	○
実施状況等	留学生の受け入れ状況報告は出入国在留管理局に適切に届けており適正校として選定されている。 支援担当者によるアルバイト先情報の管理、生活指導や進路支援などを行っている。	
確認資料	中長期在留者の受け入れに関する届出控、教育機関選定結果通知	

11-2	学習成果が国内外で評価される取組を行っていますか	A
11-2-a	学習成果が国内外で評価される取組を行っていますか	○
実施状況等	銘傳大学との国際コンペなどの交流により、価値観や文化の違いの理解を深めた。 複数の国内外の作品コンテストに応募した。	
確認資料	業務報告書、学生コンペ等受賞実績一覧	

⑫ 総括

評価	A
----	---

評価結果 (総括)	各点検項目の取組は概ね達成され、継続して適正な運営がなされている。
取組状況と その分析	責任者を明確にし実施。
今後の 改善方策等	部門間の連携。

12-1	学校評価の実施について評価してください	A
12-1-a	学校評価の目的（何のために学校評価をするか）が、全ての教職員に浸透していましたか	○
12-1-b	学校評価を積極的に実施できましたか（受動的になったり、義務感でやっていみせませんでしたか）	○
12-1-c	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	○
12-1-d	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	○
12-1-e	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	○
12-1-f	自己点検の必要性を全教職員に伝える機会を設け、自己評価の結果を全職員で共有する機会を設けましたか	○
実施状況等	責任者を明確にし実施。	
確認資料	自己評価報告書 グループウェア（回覧）	

4. 自己評価結果（総括）

評価	A
----	---

目標達成状況	・ BRUCK（学園祭）を実施し、学科間の交流を図ることができた。 ・ 一部学科では学年を超えた交流を積極的に実施した。 ・ 広島県中小企業家同友会の求人・社員教育に特化した交流行事に参加し、情報収集を行い、学生の就職につなげた。 ・ 商品企画デザイン、ネット動画クリエイター学科は募集目標は未達であったが昨年度より増加傾向となった。今後もさらなる工夫が必要である。 ・ オープンキャンパスの在校生動員を積極的に実施した。 ・ 授業用インターネット回線数を増加し、円滑な授業運営が行えるように図った。 ・ 産学連携に地域連携を追加して地域活性化イベントに参加した。 ・ 発達障害などの特徴のある学生支援のために業界・団体と意見交換を行い採用につなげた。入社後のサポート体制は企業と協働して継続する。
今後の課題・改善方策	・ 学科を超えた人員配置による活性化。（授業、チューター） ・ 継続してWebサイトから授業の様子、在校生・卒業生の活躍を含め発信する。 ・ 募集が振るわない学科のテコ入れを行う。 ・ 進路決定で「選ばれる学校」になるためのマーケティングを展開し、学校ブランディングを構築する。 ・ 卒業生の活躍に注目。作品購入や取材を行うことでデザインという分野で活躍できるフィールドの幅広さを伝える。 ・ 授業におけるAI活用のガイドラインを作成する。 ・ 学びが多様化しており、学生の状況に応じた支援策を構築する。